

堀川遊覧船における当社が創出した「Jブルークレジット」の活用について

当社は、島根原子力発電所3号機（所在地：島根県松江市）の人工リーフ（浅瀬）で形成された藻場によるCO₂吸収量をJブルークレジット^{※1}として取得し、これまでに旅行ツアーやバスケットボールの試合で活用されています。（[2023年12月13日お知らせ済み](#)）

このたび、3件目として、公益財団法人松江市観光振興公社（理事長：能海 広明）が運営する堀川遊覧船において、当社が創出したクレジットが活用されることとなりましたのでお知らせします。

<堀川遊覧船>



電動遊覧船

本取り組みは、当社が創出したJブルークレジットを活用し、電動遊覧船などの使用により排出されるCO₂（1.0t）を実質ゼロ（相殺）にします。

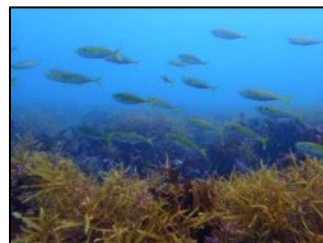
なお、本件は、松江市が目指す脱炭素社会のカーボンニュートラル観光推進の取り組みの一環として実施されるものです。

当社は、中国地域を基盤とする事業者として、引き続き、エネルギーの脱炭素化を進めるとともに、地域の皆さまと連携して、カーボンニュートラルに挑戦することで、地域の発展に貢献してまいります。

<島根原子力発電所3号機の人工リーフ併用防波護岸での藻場造成>



島根原子力発電所3号機北側
人工リーフ鳥瞰図



人工リーフ近影

※ ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（以下「JBE」）が創設した制度で、JBEから独立した第三者委員会による審査・意見を経て、JBEが認証・発行・管理する独自のクレジット

[【参考】堀川遊覧船ホームページ（松江市観光振興公社）](#)